



かなり暑い日が増え、戸外遊びから戻ると汗だくな子もいるほど。子ども達は暑さを気にせず、屋上園庭や長久保公園で体を動かしてのびのび過ごしています。友だちが大人に誘われて外へ行く準備をしていると、「ぼくも」「わたしも」と、行きたいことを各々の方法で大人にアピールをすることもあるほどです！

屋上園庭では、シャボン玉を両手で割ろうと手を伸ばしたり、停まっている電車を指さしたり、大人と手を振ったりと、思い思いに楽しむ姿があります。

長久保公園へ出かけると、虫ブームが来ている子ども達はアリ探しを始めます。斜面の上り下りをしたり、鉄棒にぶら下がったりと、こちらも公園ならではの遊び方を楽しんでいます。

更に暑さが増して室内遊びが増える前に、戸外でたくさん身体を動かして遊ぶ中で、この季節の楽しさも感じられるよう関わっていきたいと思います。

お友達が遊んでいる物にも興味津々です。色々な種類のポトリンコがお気に入り「あれがいい」「ぼくもやりたい」と、指さしや身振り、言葉で伝えています。

「同じの欲しい！」と手が出て、取られてしまうという心配から争いに…なんて姿も見られています。「これは？」と同じものや似ているものを用意すると、そちらに気持ちが向き、隣に座って遊ぶこともあります。

わらべ歌や手遊びをすると笑顔を交わして手を繋いで歩く姿や、友達の名前を覚えて名前を聞くとその子を指さしたり、名前を答えたりする姿も！毎日の生活の中で、クラスの“おともだち”を意識し始めている子ども達。

そんな中、様々なトラブルも起きています。その姿を踏まえて、1歳児の発達についてお伝えしたいと思います。

1歳児クラスって…？

<自分だけ>の世界から他人の存在に気付く時期です。

この世界に生まれてから1、2年ほど経ったばかりの子どもたちが集まるクラスです。遊びと言えば、大人の表情をじっくりと見てうれしいと感じることや、ものをいじって遊ぶことが主でしたが、入れたり出したりの遊びをしたり、簡単なパズルのようなもの、型はめ、手のひらサイズの積み木を積む等ができることが増え、だんだんと遊びの幅が広がってきます。

これらは主に“一人遊び”です。一人でじっくりと遊び、終わったらまた繰り返してやることで満足感、達成感を得ることが出来ます。

その頃、ようやく『他者の存在＝友だち』に気が付き始めます。“一緒に遊ぶ”ということではなく、“隣にいても嫌じゃない”という意識でしょう。そこから“隣にいて何となく一緒に遊んでいるような気分(並行遊び)”になっていきます。もっと後のこととなりますが、成長とともに“少しずつ役割をつくる”ことが出来るようになってきます。

クラスでは、まずはじっくり遊ぶことで満足感を得られるように、一人でじっくりと遊ぶことの出来る空間づくりを考えて遊びを支援しています。

やりたい気持ちの芽生え

これまでは大人が“やってあげること”がほとんどだったと思いますが、心の成長とともに“自分でやりたい気持ち”が出てきています。この気持ちが出てきたら、更に成長は加速していきます。身の回りのこと…特に着替えなど、ほんのちよっぴりでもできる場所は見守り、目立たないようにそっと支援して「できた！」の満足そうな表情が見られたその時に、頑張りを褒めるようにしています。

園では“自分でやりたい気持ち”を引き出してあげられるよう「自分で足入れられたね」「お尻ま



で自分で出来たの？すごい！」と、具体的な言葉でたくさん褒めています。その言葉が次への頑張りに繋がっていくので、大切にしたいタイミングです。

子ども同士の関りについて

上記に記載しましたが、友だちの存在に気づき始めて、やりたい気持ちもぐんぐん出てくると同時に、うまくできなかったときや相手にして欲しくないことをされた時の不快感、ものや場所を独占したい気持ちも強まってきます。まだ言葉でうまく表現することが出来ない時期でもあるため、叩いたり、押ししたり、時には噛んだりする行為として、子ども達は気持ちを表現することがあります。

保育園では、まずは『子どもたちが満足して遊べるような環境づくりをする』こと、それぞれの子どもの『気持ちを受け止め、何が嫌だったのかを具体的な言葉にして代弁すること』を意識して関わっています。それを相手にも伝え、お互いの気持ちやしたかったことを理解できるように支援しています。

もちろん一人一人の発達があるのでその都度、個別の対応をする時もあります。よい場面があればそこを褒めることで安心につながり、身振りや言葉、大人の手助けなどで解決できるよう見守っていききたいと思います。



イヤイヤ期どうすれば…

りす組になるとよく受けるご質問です。イヤイヤ期というのは、心の発達上大切な成長期間で、感情をコントロールする力や相手の気持ちを思いやる力が養われていきます。イヤイヤに上手に付き合っていきたいものですが、困ってしまうことも出てくると思います。対処法はきっとそのお子さん、そのケースによっても変わってきます。困ったらぜひ担任へご相談ください！一緒に考えていきましょう！！



おねがい

- *複数名で着替えることがあるため、必ず持ち物に記載をお願いします。
 - *「自分で！」の時期です。自分で着脱しやすい服や靴下、靴のご用意をお願いします。
- ご協力よろしくお願ひいたします

